



## ファイアウォール情報

この章は、次の項で構成されています。

- [ファイアウォール情報 \(1 ページ\)](#)

## ファイアウォール情報

次の表は、Cisco コンテンツセキュリティアプライアンスを正常に動作させるために開けなければならないことがあるポートのリストです（デフォルト値を示す）。

表 1: ファイアウォール ポート

デフォルト ポート ポート	Protocol	内外 (In/Out)	ホストネーム	目的
20/21	[TCP]	In または Out	AsyncOS IP、FTP サーバ	ログ ファイルのアグリゲーション用 FTP。  データ ポート TCP 1024 以上はすべて開いている必要があります。  詳細については、ナレッジベースの FTP ポート情報を検索してください。 <a href="#">ナレッジベース</a> を参照してください。
22	[TCP]	入力	AsyncOS IP	CLI への SSH アクセス、ログ ファイルのアグリゲーション。
22	[TCP]	発信 (Out)	SSH サーバ	ログ ファイルの SSH アグリゲーション。

22	[TCP]	発信 (Out)	SCP サーバ	ログ サーバへの SCP 配信。
25	[TCP]	発信 (Out)	任意 (Any)	電子メール送信用 SMTP。
25	[TCP]	入力	AsyncOS IP	バウンスされた電子メールを受信する SMTP または外部のファイアウォールから電子メールをインジェクトする場合。
53	UDP/TCP	発信 (Out)	DNS サーバ	インターネット ルート サーバまたはファイアウォール外部の DNS サーバを使用するように設定されている場合の DNS。また、SenderBase クエリの場合。
80	HTTP	入力	AsyncOS IP	システム モニタリングのための GUI への HTTP アクセス。
80	HTTP	発信 (Out)	downloads.ironport.com	McAfee 定義を除くサービス更新。
80	HTTP	発信 (Out)	updates.ironport.com	AsyncOS アップグレードおよび McAfee の定義。
80	HTTP	発信 (Out)	TAXII サーバ	ゲートウェイで外部脅威フィードを使用できるようにします。
82	HTTP	入力	AsyncOS IP	スパム隔離の表示に使用されます。
83	HTTPS	入力	AsyncOS IP	スパム隔離の表示に使用されます。
110	[TCP]	発信 (Out)	POP サーバ	スパム隔離のためのエンドユーザの POP 認証。
123	UDP	入力および出力	NTP サーバ	タイム サーバがファイアウォールの外側にある場合の NTP。
143	[TCP]	発信 (Out)	IMAP サーバ	スパム隔離のためのエンドユーザの IMAP 認証。

161	UDP	入力	AsyncOS IP	SNMP クエリ。
162	UDP	発信 (Out)	管理ステーション	SNMP トラップ。
389 また は 3268	LDAP	発信 (Out)	LDAP サーバ	LDAP ディレクトリ サーバ がファイアウォールの外側 にある場合の LDAP。Cisco スパム隔離のための LDAP 認証。
636 また は 3269	LDAPS	発信 (Out)	LDAPS	LDAPS — ActiveDirectory の グローバル カタログ サーバ (SSL 使用)
443	[TCP]	入力	AsyncOS IP	システム モニタリングのため の GUI への Secure HTTP (https) アクセス。
443	[TCP]	発信 (Out)	res.cisco.com	アップデート サーバの最新 のファイルを確認します。
443	[TCP]	発信 (Out)	update-manifests.ironport.com	アップデート サーバから最新 のファイルのリストを取 得します (物理ハードウェ ア アプライアンスの場合 )。
443	[TCP]	発信 (Out)	update-manifests.sco.cisco.com	アップデート サーバから最新 のファイルのリストを取 得します (仮想アプライア ンスの場合)。
443	[TCP]	発信 (Out)	phonehome.senderbase.org	アウトブレイク フィルタの 受信/送信。
443	[TCP]	発信 (Out)	コマンドライン インター フェイスで websecurityadvancedconfig コマンドを実行し、すべて のデフォルトを受け入れま す。Web セキュリティ サービスのホスト名が表示 されます。	URL フィルタリングに使用 する URL レピュテーション とカテゴリの情報を取得す るためのクラウドサービ ス。

443	[TCP]	発信 (Out)	[セキュリティサービス (Security Services) ] > [ファイルレピュテーションと分析 (File Reputation and Analysis) ] の [ファイルレピュテーションの詳細設定 (Advanced Settings for File Reputation) ] セクションの [クラウドサーバープール (Cloud Server Pool) ] で設定されているとおりです。	設定されている場合、これはファイルレピュテーションを取得するためにクラウドサービスにアクセスするためのポートです。デフォルトポートは 32137 です。ファイル分析サービスの場合はポート 443 を参照してください。
443	[TCP]	発信 (Out)	[セキュリティサービス (Security Services) ] > [ファイルレピュテーションと分析 (File Reputation and Analysis) ] の [ファイル分析の詳細設定 (Advanced Settings for File Analysis) ] セクションで設定されているとおりです。	ファイル分析のためのクラウドサービスへのアクセス。ファイルレピュテーションサービスの場合は、ポート 443 または 32137 を参照してください。
443	[TCP]	入力および出力	[セキュリティサービス (Security Services) ] > [ファイルレピュテーションと分析 (File Reputation and Analysis) ] の [ファイルレピュテーションの詳細設定 (Advanced Settings for File Reputation) ] セクションの AMP for Endpoints コンソールの統合のパラメータで設定されているとおりです。  api.amp.sourcefire.com api.eu.amp.sourcefire.com api.apjc.amp.sourcefire.com api.amp.cisco.com api.eu.amp.cisco.com api.apjc.amp.cisco.com	AMP for Endpoints コンソール サーバにアクセスします。

443	[TCP]	入力および出力	outlook.office365.com login.microsoftonline.com。	メールボックス自動修復のために Office 365 サービスにアクセスします。
443	[TCP]	発信 (Out)	aggregator.cisco.com	Cisco Aggregator サーバにアクセスします。
443	HTTPS	発信	logapi.ces.cisco.com	シスコ TAC によって収集されたデバッグ ログをアップロードするため。
443	HTTPS	発信	TAXII サーバ	ゲートウェイで外部脅威フィードを使用できるようにします。
514	UDP/TCP	発信 (Out)	Syslog サーバ	Syslog ロギング。
628	[TCP]	入力および入力	AsyncOS IP	外部ファイアウォールから電子メールをインジェクトする場合の QMQP。
990	TCP/FTP	発信	support-ftp.cisco.com	シスコ TAC によって収集されたデバッグ ログをアップロードするため。
1024 以降	—	—	—	ポート 21 (FTP) に関する上記の情報を参照してください。
2222	CCS	入力および入力	AsyncOS IP	クラスタ通信サービス (中央集中管理用)。
	[TCP]	発信 (Out)	AsyncOS IP	Cisco スпам隔離。
7025	[TCP]	In および Out	AsyncOS IP	この機能を集中化する場合、E メールセキュリティ アプライアンスとセキュリティ管理アプライアンス間でポリシー、ウイルス、アウトブレイク隔離データを渡します。

